



高岡 **北**
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会日・毎週月曜日 12:30～13:30
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創立・1980年5月19日
認証・1980年6月12日
国内創立順位・1489

会長 新原 俊夫
幹事 片岡 長司
会報委員長 荒木 信幸

第1821回 例会 7月 26日(月)

◇点鐘 新原会長

◇ソング “それでこそロータリー”

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：RID2610

ガバナー 神野 正博 様 (七尾RC)

ガバナー補佐 山本 護 様 (小矢部RC)

地区幹事 宮川 晴行 様 (七尾RC)

◇会長挨拶ならびに報告

皆さんこんにちは。先ほど、例会前にガバナーとの会長幹事懇談会をZoomで行いました。その際に神野ガバナーからこのクラブに同級生がいると言われ、どなたでしようかと尋ねたところ、五十嵐会員が、高校の同級生とのことでした。今日は、ガバナー公式訪問として七尾からZoomにて卓話をいただきます。テーマは「ロータリーと地域、そして私たちの仕事」30分程度を予定しております。神野様は、七尾の恵寿総合病院の理事長で能登で一番大きな病院だそうです。職員数も1,300人を超える大病院です。地区の山本ガバナー補佐、宮川地区幹事も参加されています。ありがとうございます。

今日は、土用の丑例会ということで、短縮例会を予定しております。

昨日、オリンピックの柔道で阿部兄弟の金メダルの瞬間をテレビで観戦しておりました。感動しました！お兄さんの一二三さんが、試合終了後に畳に正座し一礼をされた姿を見て、日本の柔道はとても綺麗だとつくづく感じました。現在の日本の金メダルは5個で、中国は6個だそうです。これから、日本の金メダルラッシュが続くことを期待しております。本日はよろしくお願いいたします。

◇出席報告 出席者 28名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	7/12 例会 修正出席率
1名	36名	90.32 %	90.32 %

※Zoom 参加：0名

◇委員会報告

①2020-21年度 会計報告 → 海下会計

②2020-21年度 監査報告 → 八塚監査委員長

◇幹事報告

1) 次回、8月2日(月)例会は、6時30分から有磯正八幡宮にて早朝例会を開催いたします。

2) 回覧：①会報NO.3

②2022-23年度 派遣交換学生募集要項

◇ニコニコBOX報告

神野正博ガバナー

：本日のガバナー公式訪問に際しまして。

新原会長：神野ガバナー様卓話よろしくお願ひします。

山本ガバナー補佐、宮川地区幹事ありがとうございます。

勝山 功君：昨日花尾カントリーへ、暑いのでハーフを回る約束で出かけましたが、中コースの8番ホールでティショットが真っ直ぐ行き、カチンと音がしたので、またホールインワンしていたら、1ラウンドプレーしなくてはならないので(損害保険適用のため)、困っていたら入ってませんでした。メタタシメタタシ。ハーフプレーで帰ってオリンピックを観戦しました。

八塚昌俊君：ガバナー神野正博様、ガバナー補佐山本護様、地区幹事宮川晴行様、ガバナー公式訪問ご苦労様です。毎日大変だと思いますががんばって下さい。卓話楽しみにしています。

野尻信晴君：オリンピック、日本が負けたらくやしいし、勝ったらうれしいし、やはり私日本人なかがカーアと何回みれるかな。

海下 巧君：昨日、KさんとKさんとKさんとゴルフしました。メンバーが良かったのか自己ベスト大幅更新しました。ありがとうございました。Kさん、ボールをあてて申し訳ありませんでした。

【今年度ニコBOX累計額 70,000円】

◇本日のプログラム (担当: 会長)

ガバナー公式訪問

「ロータリーと地域、
そして私たちの仕事」

RI D2610

ガバナー 神野 正博 様



高岡北ロータリークラブの皆様

こんにちは。7月からガバナーになりました、七尾 RC 所属の神野です。今日は、山本ガバナー補佐と宮川地区幹事とともに参りました。これから約 30 分よろしくお願ひします。先ほど八塚直前ガバナーのお姿もちろりと拝見しましたが、昨年度は八塚ガバナーを輩出されまして、地区幹事を始め地区副幹事など、たくさんの会員が出向され、何かと大変な年ではなかったかと思ひます。しかし八塚直前ガバナーはコロナ禍で大変な中で、色々新しいこと、まさにこの Zoom で色々なことをされて、本当にご苦労があったことと思ひます。非常に感謝しております。また余談ですが、貴クラブ所属の五十嵐会員とは同級生です。

新原会長の挨拶にあったオリンピックは、感動というより、やるかやらないかの問題があつて大変でしたが、マスコミは、連日感動の物語をお伝えしています。まさにそれは、金メダルを取ったかどうかに関わらず、或いはメダルに到達するまでの物語というものをきちんと語つていて、それで我々は涙します。ロータリーについても同じです。なぜポール・ハリスがロータリーを作つたのか、今の RI がどのようなことを考へているか、物語として伝えることをしないと、人々に共感されないのではないかと思ひます。

一方、コロナのことですが、昨日 (7/25) 石川県では 76 名の感染者が出ています。富山県は一桁でした。先の 4 連休でもっと増えるのではないかと危惧しております。しかもデルタ株というとても感染力が強いウイルスが流行つているので、皆様方、色々な奉仕活動を行う中でご自愛いただき、緊張感をもってことに当たつてほしいと思ひます。

「ロータリーと地域、そして私たちの仕事」ということで、多少職業奉仕的なこともお話できると思ひます。

さて、私たちは今大きなお荷物を抱えながら大きな嵐の中にいる状況です。大きな嵐は「コロナ」、大きなお荷物とは「社会の変化」といえるのではないのでしょうか。2015 年~25 年にかけて、後期高齢者といわれる 75 歳以上の方が日本全国で急増いたします。2025 年以降は、団塊の世代という戦後生まれが 75 歳以上になる年です。それを過ぎると、高齢者は増えず、一方で 15~64 才までの生産年齢人口が大幅に減つてきます。全体の人口減に加えて生産年齢人口が減ることにより、高齢化率が上がつてくるのが、2040 年までの構造の変化です。

今私たちロータリーは、RI 会長も会員増強を言っていますが、地域や人口が萎んでいく中で、どのように会員増強するかを考へなければならぬと思ひます。

高岡北 RC は女性会員が 3 名いらっしゃいます。ターゲットとして女性会員や若い会員を取り込まねばなりません。このように生産年齢人口が減っていく中で、各クラブで取り合わねばならないということになります。しかしながら、65~75 才の方々を加えると生産年齢人口が現在と同じになります。なので、この年代の方はもっと頑張ってほしい、人生 100 年時代の中で働いてもらわねばなりません。例えば、公職も含めてリタイヤされた方、次代に譲つた方などについて、会員増強のターゲットとしてみていく必要があります。生産年齢人口に加えるだけではなく、ロータリーの会員増強のターゲットとして加えていくことが必要です。

次に、コロナについてですが、最初に緊急事態宣言が出た頃は、連休にもかかわらず人がいませんでした。第 2 波、第 3 波、第 4 波ときて、今は第 5 波です。だんだん増えてきています。ただ、これにプラスして、想定外のことがとても増えています。災害や、感染症です。2011 年は東日本大震災、その後熊本の震災、豪雨災害がたくさんあります。今年は 7 月 3 日に熱海の山津波があり、震撼しましたが、そのようなことが、どこでいつ起こるか分かりません。この想定外の事象が多発する中で、皆様の企業も BCP (Business Continuity Plan) として事業継続計画を立てなければならぬ。同時に私たちロータリーもいざという時にどのように会員と連絡を取るか、事業を継続するか、青少年交換をしているのであれば、その青少年をどう守るかという危機管理をすることが、今まで以上に必要になります。是非皆様方のこれからの議論の中で危機管理を大きく取り上げていただきたい。

今、ワクチン接種が始まっています。人口の 60% が 2 回終えるまで、集団免疫は付きません。おそらく 10 月 11 月になるのではないかと思ひます。

シュカール・メータ RI 会長は、インドのカルカッタ RC の方です。「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」がテーマです。SERVE TO CHANGE LIVES というので、LIVES が複数形なので、「みんなの」と訳されているのではないかと思ひます。

この「みんなの人生」は誰の人生かということ、私たちが奉仕する相手の人たちはもちろん豊かにしましょう、でもそれだけではなく、私たちも豊かになりましょう、奉仕することで、ということ。また、これから私たちの仲間になる方々の人生を豊かにするために、仲間に引き入れようという思ひが必要なのではないかと思ひます。

さて、RI 会長はインドや近隣諸国で識字率向上と教育をがんばっておられた方です。ちなみに 4 月の半ばにコロナ感染されました。結構重症だったそうです。何とか回復し今世界を駆け回ろうとしております。

「Each One Bring One! 一人ひとりが一人連れておいで」ということで、会員増強の話がされています。過去 17 年ぐらい、世界のロータリー 120 万人なのですが、何とか 130 万人にしたい、120 万人分の 130 万人なので、約 1 割増を目標とされています。一人ひとりが一人連れてこれば、200% になりますが、各々が候補者を一人連

れてきて、その中から実際の会員にしましょうということです。来年の7月1日から、国際ロータリーの会員としてローターアクトが入りますので、一気に人数が増える可能性があります。しかし「Each One Bring One!」ということをおっしゃっています。

そして強調することは、3つあります。①ロータリー奉仕デーをやる②会員増強 Each One Bring One!③女子のエンパワメントです。③について、世界では女の子は小さなうちから働きに出されたり、結婚させられ子供を産まされたりします。なので、なかなか社会的進出が出来ません。我々日本人にはピンと来ない話ですが、日本に当てはめると、女子ではなく貧困対策なのかと思います。貧困家庭に生まれた子供がなかなか教育を受けられない、いい職に就けない、その子供がまた同じ貧困家庭を築くという貧困の連鎖を断ち切ろうという話だと思っております。その意味で、高岡北RCはこども食堂への援助をされ、また、外国人の子供へ教科書提供など識字率向上を行っておられ、まさにここに繋がっているのではないかと思います。

さて、ロータリーはロータリーの中だけなのかということです。ロータリーの倫理観です。四つのテストは「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」です。これは近江商人の三方よしという話があります。「買い手よし、売り手よし、世間よし」の三方よしでないと商売は成り立たない。これはロータリーの「みんなに公平か」「みんなのためになるかどうか」に繋がることではなかったかと思えます。さらに、大河ドラマでも取り上げられ、今度一万円札にも描かれる「論語とそろばんは両立する」とおっしゃったのは渋沢英一です。論語すなわち倫理・道徳と経済を一致されるべきだということです。自分だけが得するのはダメで、相手も社会も徳をする、まさに「三方よし」の考え方がそのまま通じています。それは、世界の中の世界標準の話で行けば、企業の社会的責任、CSR

(Corporate Social Responsibility)です。これに通じます。今の最先端の企業倫理の話はこの四つのテストであり、近江商人であり、論語とそろばんであり、ロータリーのこれまでの歩みと私たちのやってきたこと、目指すことは一致するのではないかと思います。今、企業の社会的責任は、つい最近某電機メーカーの話や自動車メーカーの話など色々ありましたが、日本の大事な倫理観である四つのテストをもう一度見直すべきだと思います。今更ながら、皆様と確認したいと思います。

ロータリーの優先事項ですが、2年前の松本年度から出てきました。DEI (多様性 Diversity、公平さ equity、包摂 inclusion)ということがロータリーの優先事項です。実はこれは、世界の経営論の中心で、まさにオリンピックの開会式で橋本組織委員長、バツハ会長もおっしゃっておりました。そのような意味では、世界の潮流がロータリーの優先事項です。世界とロータリーは関わっていると思ってもよいと思います。そういった意味で、奉仕活動も DEI をやりながらというのが重要です。

八塚年度のRI 会長、ホルガー・クナークは、新しいロータリーの価値観ということで、新しい方法で繋がることで新たな価値観が生まれるとっておられます。まさに Zoom の世界はどこでもドアのようです。アメリカや北海道、沖縄でも一瞬で繋がりが、話すことが出来ます。昨年度の「ロータリーは世界の扉を開く」というテーマそのものがどこでもドアで、おそらくクナーク会長がこのテーマを決めた頃はコロナは流行っていなかったかと思いますが、このコロナのおかげで、機会の扉がたくさん開かれ、これを利用しない手は無いと強く思います。

来年のRI 会長であるジェニファー・ジョーンズさんは、女性としてはじめてRI 会長をされます。6月のバーチャル国際大会で、違う力を持った人々が奉仕の為に集う、それがロータリーの多様性、力であるとおられました。

ロータリーには7つの重点分野があります。「環境」が7月から新たに加わった重点分野です。「平和と紛争予防」「疾病予防」「水」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」のこの6つから「環境」が加わり7つです。7つの重点分野とSDGs

(Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標を比べると、7つの重点分野と重なります。

「水」について1980年からポリオ撲滅にロータリーは多額の寄付をしています。2020年8月25日にアフリカで野生型ポリオが根絶されました。残るはアフガニスタンとパキスタンの紛争地域のみです。この報道があったときにとても残念に思ったのが、ロータリーの口の字もマスコミに出ませんでした。ビル・ゲイツやWHOが出てきました。これは公共イメージ向上の為にアピールすべきだと思います。

さて、ポリオの話ですが、ポリオワクチンは経口接種で注射ではないのですが、冷たいまま運ばなければなりません。これをコールドチェーンといいます。冷たいまま運ぶ物流のことです。おそらく今後コロナワクチンを運ぶ際、同じように冷たいまま運ぶというロータリーが作り上げてきたコールドチェーンが必ず役に立ちます。

地区の活動方針については、今地域に必要なことは、やはりコロナ禍で大変な思いをした業種もたくさんあったかと思えます。この困難からの回復を英語でresilienceといいます。テーマをレジリエンス~未来のロータリーを築こうといたしました。おそらくbefore コロナに戻るのではなく、私たちが遠い未来の出来事だと思っていたことをやらないとafter コロナやwith コロナにはならないのではないかと思います。その意味でafter コロナやwith コロナを築くのが、今生きている私たちの使命ではないでしょうか。あと、6つの目標を掲げております。

①5~10年後を見据えた未来ビジョン委員会の設置②地域の社会奉仕を見直す③職業奉仕を活用する④7つの重点分野を意識する⑤クラブの危機管理と持続性の担保⑥これからの集会のあり方を考えてください。

あと、ロータリー奉仕デーを行っていただくと幸いです。参加登録をお願いいたします。